

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	881 国史跡上野城跡保存事業	会計	01	一般会計
基本	36 歴史や文化を守り、未来へと引き継ぐ	款	10	教育費
策		項	05	社会教育費
目	5 史跡の保存整備	目	02	文化財保護費
細目		104	文化財保存整備事業	
細々目		02	国史跡上野城跡保存整備事業	
基本計画該当頁		143		行革大綱の重点事項番号
担当部課	コード 450400	評価者	前田 明伸	
名称	教育部 生涯学習課	氏名	連絡先	22 - 9679 (内線) 3830

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
国史跡上野城跡筒井本丸ゾーン(城代屋敷跡周辺)の遺構 (※対象件数)	遺構を土堀やサイン表示など、城郭として整備することで、筒井時代とそれ以降の上野城の変遷等、上野城の文化財としての価値が顕在化し、多くの利用者が訪れる場となる。石垣を修復、復元することで、遺構を守り、景観や利用者の安全を確保することができる。
根拠法令・要綱等	文化財保護法
開始年度	平成 11 年度
終了年度	平成 25 年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・石垣修復工事 ・石垣および石材の養生
状況変化等	平成11～16年度の調査成果に基づき、城代屋敷跡周辺の整備のため、指導委員会等で遺構表示、表門等の建物復元・立体表示、消失石垣の復元等について検討を行い、16年度には整備基本設計の策定を行った。また、調査成果をもとに遺構検討や史料との照合を行い、城代屋敷、台所門について、絵図と遺構との一致が多く見られた。19年度より、台所門周辺石垣の整備に着手し、石垣解体工事が終了し、内側より石垣が検出された。21年度は、20年度の石垣修復工事を継続する。

整備内容

1 建設用地	上野丸之内地内 21年度 発掘調査・遺構整備
2 建設面積(延床面積)	工事(石垣) 21・22年度遺構整備工事(石垣) 23年度～遺構整備(門・土堀他)
3 規模・構造	
4 総事業費	366,200 千円

運営体制

1 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	
2 配置(予定)人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事業種別	継続	補助	事業類型	Ⅲ	整備事業	2次評価対象分
------	----	----	------	---	------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H19	H20	H21	H22
		目標	目標		
		実績	実績		
		目標	目標		
		実績	実績		
		目標	目標		
		実績	実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H19	H20	H21	H22
計画の進捗度	平成25年度までの全事業計画の年次計画に従って事業を進める。	%	目標 55 実績 55	目標 60 実績 60	70	75
			目標	目標		
			実績	実績		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	筒井本丸ゾーンは、城跡の中核的な部分であり、城の変遷上重要なところである。発掘調査を進め遺構の解明を図り、その成果を史跡の保存整備に活かすことで、文化財としての価値を顕在化し、その活用を図ることができる。台所門付近の石垣は、昨年度の修復工事により1/3程積上げた状況で斜面を養生しており、緊急に修復、復元を要する現状である。
有効性	4	筒井本丸ゾーンは、石垣が現存し筒井天守跡等が所在するが、城郭としての整備はされておらず、見学者があまり訪れない地区である。また、上野城跡全体をみても、高石垣や内堀等は見られるが、上野城と直接的に関連する建物等はなく、全体の縄張りや、変遷等城郭の歴史について正しい理解を得られる状況といえず、城郭としての整備が有効である。
達成度	4	20年度予定の事業目標を達成することができた。発掘及び土質調査、測量を中心に基礎資料が積み上げられ、特に解体調査で検出された内部石垣及び上部版築遺構は、非常に貴重な遺構で、藤堂氏以前の上野城跡を知る手がかりとして新たな知見が得られた。
効率性	4	石垣修復工事業務等の実施設計及び監理について都市計画課へ事務委任することで効率良く業務が遂行できた。消失した石垣を補充する新補石材として、他の公共事業で不要になった石材を活用することができ、コストを抑えることができた。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	拡大	平成19年度より整備事業に着手した。今後、台所門周辺石垣修復について平成22年度完成を目指しているが、表門周辺、台所門周辺、城代屋敷跡地等の整備についても、並行して計画を進め、事業の進捗に支障の無いようにする。

進捗状況	年度	平成19年度 決算内容					平成20年度 決算内容					平成21年度 計画内容					平成22年度 計画内容					平成23年度 計画内容					平成24年度 計画内容				
		19	20	21	22	23	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	
委託 工事 調査	委託	←→					賃金			(千円) 2,325	賃金			(千円) 1,429	工事請負費			(千円) 28,463	調査費			(千円) 2,000	調査費			(千円) 2,000	工事請負費			(千円) 34,935	
	工事	委託料	←→					委託料			4,271	委託料			4,686	委託料			1,197	工事請負費			52,890	工事請負費			84,600	補給等整備工事請負費			3,000
		工事請負費	←→					工事請負費			8,354	工事請負費			11,940	報償費			180	修景等整備工事請負費			6,000	修景等整備工事請負費			3,000	委託料			5,840
	調査	報償費	←→					報償費			130	報償費			130	需用費			25	委託料			13,630	委託料			4,520	事務費			500
		需用費	←→					需用費			174	需用費			91	その他			135	事務費			500	事務費			500				
		使用料及び賃借料	←→					使用料及び賃借料			221	使用料及び賃借料			149																
		原材料費	←→					原材料費			89	原材料費			19																
	その他	←→					その他			136	その他			56																	
	進捗率(%)	55	60	70	75	80	事業費計(A)	Σ		15,700	事業費計(A)	Σ		18,500	事業費計(A)	Σ		30,000	事業費計(A)	Σ		75,020	事業費計(A)	Σ		94,620	事業費計(A)	Σ		44,275	
	事業投入人員						人件費(B)	0.7	人	5,040	人件費(B)	0.7	人	5,040	人件費(B)	0.6	人	4,320	人件費(B)	0.7	人	5,040	人件費(B)	0.7	人	5,040	人件費(B)	0.6	人	4,320	
フルコスト (A)+(B)									20,740				23,540				34,320				80,060				99,660				48,595		

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	15,700	18,500	30,000	75,020	94,620	44,275
国庫支出金	7,850	9,250	15,000	37,510	47,310	22,137
県支出金	1,570	1,850	2,100	5,251	6,623	3,099
地方債						
受益者負担						
その他						
一般財源	6,280	7,400	12,900	32,259	40,687	19,039
計	15,700	18,500	30,000	75,020	94,620	44,275
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・国庫補助率50% 地方債の区分と充当率等	国庫重要文化財等保存整備費補助金 国庫補助率 50% 県補助率 10%	国庫重要文化財等保存整備費補助金 国庫補助率 50% 県補助率 10%	国庫重要文化財等保存整備費補助金 国庫補助率 50% 県補助率 7%	国庫重要文化財等保存整備費補助金 国庫補助率 50% 県補助率 7%	国庫重要文化財等保存整備費補助金 国庫補助率 50% 県補助率 7%